



藻場をおこす、未来をつくる

藻藍部

MOAIBU

News release

令和6年7月9日

藻場の今と未来を「知る・感じる・体験する」藻藍部初の研修プログラム

～美波町をフィールドとした藻場再生の取り組み～

一般社団法人藻藍部（本社：徳島県海部郡美波町 代表理事：豊崎辰輝）（以下、藻藍部）は、磯焼けの問題解決に向けて、「アイゴをつかった地場製品の開発」や「藻場・漁場再生資材の開発」を通じて、水産業の活性化と海の生態系の好循環を目指しています。藻藍部は、昨年11月に美波町主催イベントと連携し、海洋での実証実験に着手するなど、地域と連携したプロジェクトを推進しています。

令和6年6月上旬、三井共同建設コンサルタント株式会社（本社：東京都品川区 代表取締役社長：中野宇助）（以下、MCC）の新入社員が、徳島県美波町において藻場の見学や藻場増殖資材の作成といった藻藍部主催の研修プロジェクトに参加しました。

本リリースのポイント

- ① MCCの新入社員が徳島県美波町で環境保全活動を体験。
- ② 全国的な問題である「磯焼け」の課題解決に向けた、徳島県美波町での地域密着型支援活動の紹介。

■美波町ってどんなところ？

美波町は徳島県の南東に位置する人口5,807人（2024年5月末時点）の小さな町です。自然を感じられる大浜海岸や歴史ある薬王寺があり、夏には「美波の阿波踊り」が開催されます。自然、文化、食、そして温かい人々が揃った魅力たっぷりの町です。



■ 活動内容

研修では、藻藍部のビジョンや取組み概要に関する講演、地元漁師の案内で藻場を見学、藻場再生のための藻場増殖資材作成など、「知る・感じる・体験する」の3ステップを通じた研修プログラムを実施しました。

STEP1 知る



藻藍部理事の中村氏によるプロジェクトのビジョン・取組み概要・今後の展望などについて講演

STEP2 感じる



日和佐町漁業協同組合の漁師の協力のもと、実際に船で藻場へ見学

STEP3 体験する



うみの株式会社の協力のもと、徳島県の廃棄物を使用した藻場再生資材の作成を体験

【STEP1：知る】うみの株式会社社長の講演

藻藍部の理事を務める中村智治氏（うみの株式会社代表取締役社長）による藻藍部の活動内容などの講演を行いました。美波町の沿岸では、過去の間活動が生物多様性の劣化・漁業資源の枯渇・気候変動の影響を招き、海の生態系が崩れてきていると紹介がありました。そのなかでできることとして、まずは藻場再生を通じ、ボランティアベースではなくビジネスベースでチャレンジする必要性、それを実践している藻藍部の取組みを熱く講義いただきました。

うみの株式会社は全国の漁業協同組合と二枚貝種苗の生産・販売の取引があり、さらに水生生物を対象とした受託研究・製造サービスを展開しています。



【STEP2：感じる】藻場の見学

約20年前まで、美波町にはアラメやカジメなどの大型海藻が繁茂し、アワビ・トコブシが生息するなど豊かな藻場を有していました。しかし、気候変動の影響による高水温化に伴うアイゴなどの植食性魚類の生息域の拡大により、現在では多くの藻場が消失しています。この現状を把握するため、日和佐町漁業協同組合の協力のもと、海上見学を行いました。



【STEP3：体験する】藻場増殖資材の作成

本来、山で腐葉土となり河川や地下水を通じて海に運ばれていた栄養素が、河川護岸や防潮堤工事などによって十分に供給されていないという現状を受けて、窒素・リン・フルボ酸などの海藻の成長に必要な栄養素を直接供給するために藻場増殖資材を開発しています。本研修では資材を作成し、作成した資材は今年8月に海へ投下します。



藻場増殖資材の原料 (いずれも県内で排出された廃材)

■参加者の声



兼本 剛志さん

美波町で取り組む環境問題解決に向けた事業を肌で感じることができました。今後は全国の環境問題にも関心をもっていきたいです。



和田 光将さん

実際にプロジェクトを実行している方々のお話を聞きながら、環境保全活動を体験できる点が素晴らしいと思いました。



安倍 一葉さん

慈善活動で終わらず事業として成立させる仕組みを考えて進めることは自分でも持つべき意識だと思いました。



石神 和さん

現地に赴き自らの目で藻場の現状を見れたこと、自らの手で藻場増殖資材を作ったことなど、海の環境を守る取り組みに参加できてよかったです。

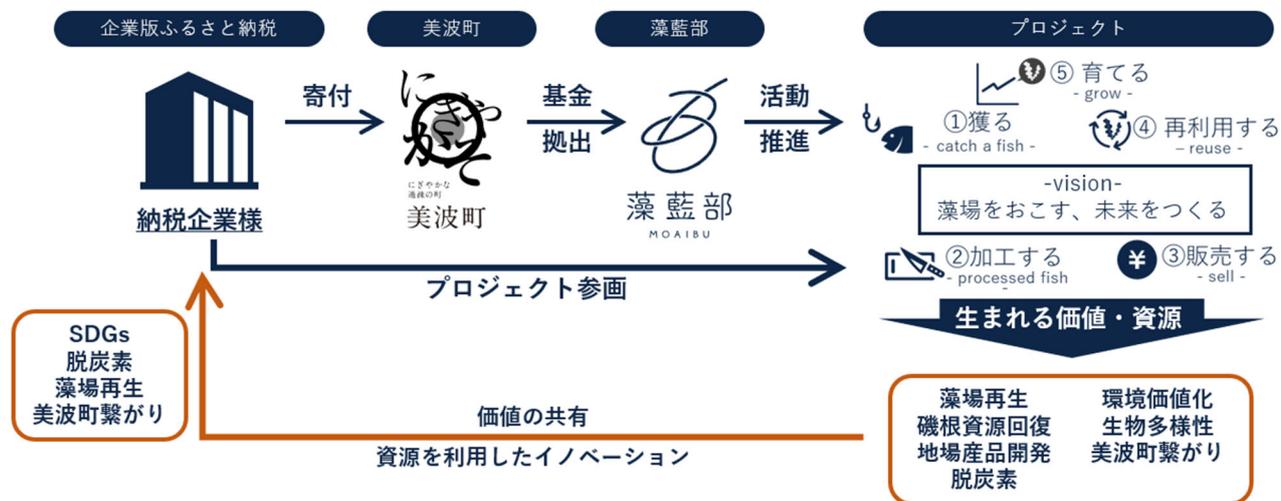


今後も研修プログラムの充実と普及を図り、

海の保全・藻場の再生の重要性を知っていただくとともに、持続可能な未来への投資を行います。

■美波町での企業版ふるさと納税

美波町の企業版ふるさと納税の特長は、藻藍部プロジェクトに参画頂くことで新たな価値や資源を生み出す側にもなれることです。寄付だけにとどまらない新しいふるさと納税を通して、納税企業さまの企業価値向上に貢献します。



MOAIBU MEMBER COMPANY



本リリースのプロジェクトは、SDGs（持続可能な開発目標）における下記4つの目標に貢献しています。

- 目標 12 つくる責任 つかう責任
- 目標 13 気候変動に具体的な対策を
- 目標 14 海の豊かさを守ろう
- 目標 17 パートナーシップで目標を達成しよう



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

【本件に関するお問い合わせ先】
 一般社団法人藻藍部 理事：永井 雅章(ながい まさき)
 TEL : 050-5468-8830 E-MAIL : nagai.m@moaibu-assoc.com